

第54号



木曾川町連区



地域づくり協議会だより

【発行日】令和4年10月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005
【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp
【ホームページ】<http://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪



↑
こちらからどうぞ

学校・家庭・地域の連携・協力を大切に

木曾川中学校 校長 宇佐美 徹

新入生304名を迎え、生徒数935名、職員数65名で本年度がスタートしました。どの学年も落ちついた雰囲気です。授業を進めており、明るい笑顔と何事にも前向きに取り組める「木中生」の素晴らしさを改めて感じています。

昨年度より、新しい学習指導要領が中学校で全面実施され、予測困難な時代、デジタル化・オンライン化など急激に変化する時代に対応する力を育くもうと、授業改善やタブレットの配備などの変革が一気に進みました。しかしながら、子どもたちの自立を目指し、一人一人の成長の基礎作りを進める学校の役割は変わりありません。そして、その基礎作りには、学校・家庭・地域が思いを共有することが不可欠です。職員一丸となり、家庭・地域と連携・協力して教育活動を進めていきます。ご支援よろしくお願いいたします。



「Junior Talk in Kisogawa」中止も前進

活気部会長 平林 哲也

8月6日(土)開催予定の小中学生による『Junior Talk in Kisogawa』は、市内の新型コロナ感染の急拡大を鑑み、残念ながら中止しました。

しかし、参加を予定していた小中学生の「木曾川町をこんなまちにしたい」という意見や考えを聴く機会を無にしないよう、夏休み中にレポート提案の形で提出してもらうことにしました。今後、出されたレポートを集約し、小中学生にフィードバックしながら、取り上げる企画を決定し、小中学生の力で実現に向けた活動を進めていきます。

具体的な活動は、地域づくり協議会HPなどを通じて発信していきますので、乞うご期待。



「ステンシル体験」を開催

木曾川公民館 野田 眞弘

今年も新型コロナウイルス感染症により、公民館学習事業にあたっては引き続き感染対策に十分配慮して開催することになりました。今年度の女性学級は、7月7日（木）の第1回を初めに11月までの3か月間に渡り、計6回開講する予定となっています。コロナ禍により自粛生活で運動不足や気持ちが塞ぎがちになりやすいですが、皆さんと一緒に楽しく体を動かし、音楽に合わせて、手足の運動や脳トレなどを行い、少しでも笑顔でいられることは素晴らしいことと思います。皆さんが、女性学級に参加いただくことで、少しでもリフレッシュしていただくことにお手伝いできて良かったと感じています。

さて、7月21日（木）に開催しました第2回女性学級では、「ステンシル」の体験を行いました。ステンシル体験は初めての企画で経験された方も多くありませんでした。まず、クリアファイルに自分の好きな図案を描いて、それをハサミやカッターで切り取るところから始まります。そして、切り取った図案は、型として使用し、布に張り付けて、専用の絵の具を使って、型に合わせて色を塗っていきます。久しぶりに絵の具を使う方もあり、絵の具がはみ出してしまって苦戦される方もありました。出来上がった作品は、同じ型でもそれぞれ色の塗り具合で個性があって楽しいものとなりました。今回の布は、ハンカチサイズになっており、皆さんオリジナルのハンカチが出来上がり、とても満足していただけたようです。

これからも、多くの皆さんに楽しんで参加いただけるよう、女性学習部一同頑張ってお手伝いしていきたいと、心から思っています。



「認知症サポーター養成講座」に参加して

日本は今、コロナ感染の猛威の中、大相撲・プロ野球そして歌舞伎界ともに、休場・試合延期など社会経済を低迷させることなくいろいろと工夫をしながら行動しています。今回の認知症講習会も、会場（木曾川文化会館）内の密を無くし換気に考慮するなど、役員さんの苦勞を随所に何うことが出来ました。開始時間も予定通り始まり、会長はご自身の体験談を交えながら認知症理解の重要性を問われていました。

「2025年には5人に1人が認知症」との話から始まり、『認知症の理解と接し方』『認知症とは』では、認知症の方の物の見え方、考え方など『心の内』を、いろいろな事例を示し理解して貰いたいという姿勢がよく伝わりました。

講習の中程では、女性部員の方が頭と身体の体操を行い、会場内が一体化しリラックスしました。



座席は隣り合わせに座らないような工夫がしてありました

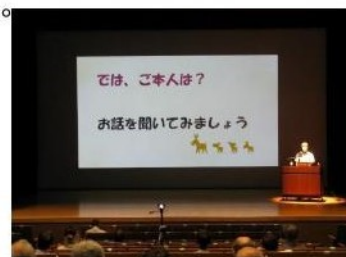


赤は手を上げて黄色は手を腰にリンゴは??色

また、60代で認知症と診断された方の体験談も聞きました。言われなければ判らない状況でした。本人は早期発見できたのが良かったとおっしゃっていました。また、特別扱いを受けるのは「いやだ」「普通に接して欲しい」とも。講師の方も、驚かせないよう優しく時間をかけて、ゆっくりと接するのが良いのではとのことでした。

人ごとでなく、誰もがなり得る症状だということを認識し、なった人・サポーターとがお互い相手の気持ちをよく理解し合う良い機会になったと感じました。

～参加者から～



参加しませんか「声かけお助け隊」体験

思いやり部会長 中村 隆

思いやり部会では、各小学校校区順に「声かけお助け隊」体験として、高齢者認知症徘徊模擬訓練を行っています。

毎朝「おはようございます」と隣り近所の方々や、子供さんとのあいさつは一日の活力となり気持ちのいいものですね。さらに、地域内で通りがかりの方や見知らぬ人とのあいさつは、防犯にも役立ち安心して暮らせるまちになると思います。

思いやり部会では高齢者の認知症対策として、今年度は東小学校体育館で徘徊模擬訓練を行います。町中で何か困っていそうなお年寄り（高齢者認知症）への声かけ体験練習です。認知症の方は見た目がなにもかわらず、どのようなサポートが必要か中々わかりません。困っていそうなお年寄りへの声かけは「一人での声かけはとても無理」でもグループでの対応なら何とかできそうと、ちょっとしたコツを経験していただく練習です。

11月12日（土）9時～12時 木曾川東小学校体育館で実施します。東小学校区の皆さまには募集用紙を町会長様より全戸配布していただきました。ぜひご参加ください。黒田小学校区・西小学校区の皆さまには、この機会にぜひご見学にお越しください。



結構なお点前で・・・

町内小中学校では、さまざまな形で学校を支援するボランティア活動が盛んです。そんなボランティア団体の一つ「木曾川中学校PTAさんかく倶楽部」は、7月6日（水）に木曾川中学校茶道部との交流お茶会を開催しました。



地域の大人と中学校文化部との交流を行っているのは市内でも珍しく、生徒のみなさんにとっても貴重な体験となります。

参加者からは、「生徒たちにとっても、とても良い思い出になったことと思います。たくさんのおもてなしを受け、感動しました。」「顧問の先生や生徒さんたちの一生懸命な姿を見ることができ、刺激を受けました。」などの声が上がりました。



第4回「雀のお宿野外音楽祭」のご案内

今年も昨年に引き続き10月23日(日)に開催します!
自然豊かな木曽川緑地公園で心地よい風に吹かれながら、音楽とともに心を癒やしてみませんか。皆さまのお越しをお待ちしております。

主催 木曽川町連区地域づくり協議会
イタセンパラ生息地保存会

第4回

雀のお宿 野外音楽祭

入場
無料

☆来てみて発見♥雀のお宿☆

会場

雀のお宿(木曽川緑地)公園

日時

2022.10.23(日)(雨天中止)

開演

13:00 15:40終了予定

出演

TO BE SURE

一宮少年少女合唱団「きそがわKIDS」

木曽川ライトソングクラブ

小塚謙一

THE BISHU JAZZ ORCHESTRA



クイズラリーで
お菓子をプレゼント!
バルーンアートもあるよ!

後援

ミズベリングプロジェクト
国土交通省 中部地方整備局
木曽川上流河川事務所
一宮市

協力

里小牧区町会長会
木曽川緑道を守る会
木曽川文化・スポーツクラブ
木曽川文化創造ワークショップ

会場地図



【写真は昨年の様子】

なお、今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、中止せざるを得ない場合があります。その際には、木曽川町連区地域づくり協議会ホームページにてお知らせいたします。

(<https://138kisogawa.org/>)



★今後の行事内容★

●文化祭→10月29日(土)・30日(日)

●芸能祭→11月6日(日)

●防災訓練→11月20日(日)

